

丹沢ボラネット瓦版

2015年7月号 No.92

平成27年度 丹沢大山ボランティアネットワーク総会の報告

報告者 NPO法人丹沢自然学校 小林 昭五



神奈川県自然環境保全センター(厚木市七沢)

平成27年4月11日(土) 神奈川県自然環境保全センターレクチャールームに於いて、丹沢・大山ボランティアネットワークの総会が開催される。

総会は出席者の自己紹介から始まりました。

ボラネット杉山代表世話人、そして来賓の自然環境保全センター 山根自然保護公園部長の挨拶で始まりました。

挨拶の中で、各ボランティア活動に対するお礼と丹沢大山再生の現状と再生について等が話されました。

議題1 「平成26年度事業報告」「平成26年度決算報告」

議題2 「平成27年度事業計画」(案)

- (1) 水質調査(5月) 水場 22箇所
- (2) 夏休み親子自然探検隊 山北町皆瀬川
- (3) 生き物調査と外来種駆除活動(10月)
自然環境保全センター自然観察園
- (4) 講演会(6月)「丹沢の哺乳類」
講師 丹沢野生生物研究会 山口 喜盛氏
- (5) 丹沢大山登山環境意識調査
平成26年度の実施結果の公表用資料の「まとめ」と作成

議題3 「平成27年度予算」(案)

議題4 世話人の改選の話し合い

ボラネット加入団体のなかで世話人の輪番制を取り入れてはどうか？
今後の課題として提案する。

| 名称 | 氏名 | 団体名 | 任期 |
|-----|-------|-----------------------|-------------|
| 代表 | 杉山 勉 | グリーンタフ | 平成 29 年 4 月 |
| 副代表 | 小林 昭五 | NPO法人 丹沢自然学校 | 平成 28 年 4 月 |
| | 小野 均 | NPO法人 四十八瀬川自然村 | 平成 28 年 4 月 |
| 会計 | 栗林 弘樹 | 丹沢ゴミ調査会 | 平成 28 年 4 月 |
| 監事 | 住倉 英孝 | NPO法人 神奈川ウォーター・ネットワーク | 平成 28 年 4 月 |
| 監事 | 酒井 明子 | NPO法人 丹沢自然保護協会 | 平成 29 年 4 月 |

なお「水質調査」「登山道実態調査」「夏休み親子探検隊」については、「丹沢の緑を育む集い実行委員会」の助成事業になっており、「丹沢の緑を育む集い実行委員会」の平成27年度総会によって予算が承認されます。

議題1～議題4まで全員挙手で承認されました。

議題5 「世話人会の改選」 世話人会の杉山から提案と説明が行われました。
全員承認されました。

平成27年度事業についての計画

1 世話人会

(1) 実施日 年4回

6、9、12、3月の第1水曜日

(2) 場所 あつぎ市民交流プラザ

(3) 出席者 世話人

自然環境保全センター

(4) 内容 事業の企画運営ほか

2 広報

(1) 瓦版の発行 年4回

(2) 活動報告書の作成

(3) ホームページの更新

3 関係会議などへの出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

(2) 丹沢大山自然再生委員会

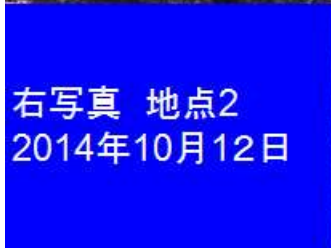


平成25年の緑を育む集い実行委員会ボランティア団体活動事業報告会
1 「NPO法人丹沢自然学校」の報告 報告者 小林昭五



5 2010～2014
の間変化

左写真 地点2
2010年10月10日



右写真 地点2
2014年10月12日



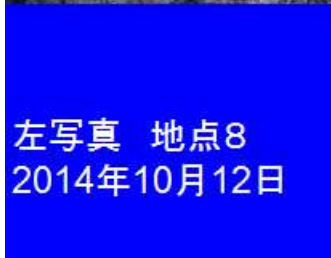
緑の定点観察研究

檜洞丸登山道つつじ新道
ゴーラ沢出合から20分地点

4年間のスズケ群落の後退
驚異の変化！！



8
左写真 地点8
2010年10月11日



左写真 地点8
2014年10月12日



檜洞丸山頂へ10分地点

四年間で
ブナを主にした高中木層林
枯れて消えてしまう！！
恐ろしい！！

2 「野生動物救護の会」の報告

報告者 高橋氏

3 「NPO法人四十八瀬川自然村

報告者 小野 均

それぞれの団体が内容のある研究をしました。
良い報告会が出来ました。

平成 27年度 丹沢大山ボラネット講演会

報告者 NPO法人丹沢自然学校 小林 昭五



山口氏の講演の様子



会長挨拶

丹沢講演会 盛大に開催される。

日時 6月27日(土)13時～15時

場所 神奈川県自然環境保全センターレクチャールーム

演題 「丹沢の哺乳類は今」

講師紹介

山口 喜盛氏

丹沢野生動物研究会

元丹沢湖ビジターセンター所長

秦野市出身で学生の頃から野生動物の研究をされていました。

著書 丹沢の自然図鑑 (メイツ出版)他多数有ります。

現在は神奈川県生命の星地球博物館の外来研究員

日本の野生生物を紹介(特に丹沢)するワイルドライフミュージアムを主催されています。

右写真

講師

山口先生の紹介様子。

講演会は盛況で

40名以上の方が参加しました。

熱心にノートを取られている方が多かったです。





上写真盛況だった講演会の様子

右下写真コウモリのスライド

内容 日本の哺乳類の種類は 134 種

コウモリ類 世界 約 1000 種 日本 37 種 丹沢 13 種

コキクガシラコウモリ アブラコウモリ イエコウモリ

キクガシラコウモリ モモシロコウモリなど。

- 1 特徴 暗闇を飛ぶ。(哺乳類で唯一)
- 2 冬眠する。
- 3 寿命が長い。小さい。 ヒナコウモリ大きい約 40 cm



コウベモグラとアズマモグラの争い



アナグマ(イタチ科)の説明

その他

ネズミ類 ヤマネ ムササビ ニホンザル等の解説

ハクビシン アライグマ タヌキ アナグマ イタチ テン ニホンザル

などの見分け方、特徴や気がつくこと等の話

大型の哺乳類では

ニホンジカ イノシシ カモシカ ツキノワグマなどについて講演されました。

ツキノワグマとカモシカは黒っぽく体つきが似ているので見間違います。



ほんとに、後ろからだに似ていますね。顔はカモシカには白い部分もあります。下スライド
固体季節で変化 上スライドは 左カモシカ(特別天然記念物) 右ツキノワグマ
カモシカの木へのこすりつけ
マーキング(縄張り)です。

その他

角研ぎは角を磨きます。

角の手入れです。

カモシカの蹄は鹿より太く、広く広がります。それで

岩場にしっかりつかまるのに便利です。

鹿が行けない所や留まることが出来ない場所に安定していられます。

司会進行をさせて頂いた

世話人の小林昭五が報告書を書かせて頂きました。

皆様方の御協力有り難うございました。



右写真
受付の様子

左写真
司会進行の様子



各団体からのお知らせ

神奈川野生動物救護連絡会

「海の生き物 SOS 展!」

場所 横浜市横浜動物園 ズーラシア

期間：平成 27 年 6 月 4 日(水)～8 月 31 日(月)

場所： ホッキョクグマ・オットセイ水中観覧所前

ワークショップ：7月の毎日曜日 5、12、19、26 の 13：00～。(30 分程度)

7 月 19 日と 26 日は救護連が担当します。

海ゴミは川から 7 割！山と海は川を通じてつながっています。

その現状と野生動物への影響などを、パネルや実際の海ゴミを展示し人間の活動の影響と野生動物がおかれている現状について問題提起する企画展です。

開園時間 9:30～16:30(入園は 16:00 まで)

休園日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日休園)、8 月 11 日(火)は開園。

* 神奈川野生動物救護連絡会(以下、救護連)はズーラシアに協力し「海の生き物 SOS 展」の企画、展示、ワークショップ(一部)を行なっています。

* 救護連とは WRV 神奈川支部 + 神奈川野生動物リハビリテーター + かながわ野生動物サポートネットワーク + 野生動物救護の会の有志で実施している活動です。

NPO 法人足柄丹沢の郷ネットワーク

活動名：足柄キンタロウ学校・グリーンウッドワーク講座
「間伐材を伐って削って指輪づくり&森の色鉛筆づくり体験

日時：2015年8月22日(土) 09:30~16:00

場所：横浜市旭区若葉台小学校ピロティ(中庭バスケットコート横)

募集人数：親子10組(子ども10名、午前午後5組)

対象：小学生

参加費：無料(保険は主催者側で負担し加入します。)

主催：NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク

共催(予定)：若葉台小学校PTA

協力：NPO法人グリーンウッドワーク協会

助成：(独)国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」

申し込み方法：以下の内容に記入していただき、電子メールまたはFAXで下記事務局宛に送付願います

参加するお子様のお名前・学年 保護者の方のお名前 ご住所 連絡先電話番号

締め切り日：8月17日(月)定員になり次第締め切りとさせていただきます。

【お問い合わせ・申し込み先】

足柄キンタロウ学校事務局(NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク内) 担当 福島

連絡先電話番号(携帯) 080-6106-0974

FAX番号 045-511-7568

電子メール : m.fukushima@sea.plala.or.jp



丹沢自然保護協会

～ 2015 森の学校・夏の教室～

日程：8月10日（月）～12日（水）

集合：小田急線 秦野駅 南口 9:00am（解散は12日16:00予定）

対象：小学4年生～中学1年生 対象外の年齢はご相談ください。

募集人数：30名 先着順

宿泊：国民宿舎 丹沢ホーム <http://www.tanzawa-home.com>

費用：18,000円（2泊6食、貸切バス、保険料などを含みます）

兄弟姉妹での参加は割引もあります。ご相談ください。

おやつ等も用意します。集合場所までの往復交通費以外、お金は必要ありません。

服装：山を歩ける服装や靴

持ち物：お弁当（10日昼食）、飲み物（水筒）、雨具、軍手、筆記用具、ザック

着替え、タオル、1000面用品、水着、ウォーターシューズ（濡れていい履物）

その他必要と思うもの

問い合わせ：丹沢自然保護協会 中村 道也

tel. 0463-75-3272（国民宿舎 丹沢ホーム）

E-mail：n-tanzawa@nifty.com

西丹沢の自然にふれあう会

<行事の様子（全行事に共通）>

- ・目的：避難小屋や登山道の清掃
- ・持ち物：ごくふつうのハイキング（昼飯、水、雨具など）
- ・参加申し込み：実施日の一週間前の土曜日までにryo9912@hyper.ocn.ne.jp 多田慎一へ
- ・お問い合わせ：多田慎一

<行事日程・集合場所・行先>

- ・8月22日（土）・小田急線渋沢駅南口8時・大又沢林道
- ・9月26日（土）・小田急線渋沢駅南口8時・一軒屋避難小屋
- ・10月24日（土）・小田急線渋沢駅南口8時・三国山、鉄砲木の頭
- ・11月28日（土）・小田急線渋沢駅南口8時・玄倉林道

NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク

| | |
|----------------|--|
| 団体名称 | NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク |
| 設立目的 | 神奈川県が実施した丹沢大山総合調査に参加した魚類・底生生物ボランティアが中心となって設立した。神奈川県内の生物、とりわけ淡水魚や水生生物とそれを取り巻く環境の保護・保全・調査・研究・啓蒙活動を行うことを目的とした。 【設立年月日】平成 18 年 10 月 18 日 |
| 会員構成等 | 【代表者】山崎 泰 【会員数】14 名 【ホームページ】 - |
| 27 年度の活動予定（内容） | <p>通年 県や市町村の機関と協力し、外来移入種の駆除と在来生物の保全活動を実施する。また、シンポジウムの開催や他のシンポジウム・自然観察会への講師の派遣を行う。</p> <p>10 月 2015 年 10 月 11 日（日）山北町 H 沢において、ヤマメの産卵床の造成を行う。 （9：00～12：00） （対象）漁協・希望者・神奈川ウォーター・ネットワーク会員など</p> <p>10 月 2015 年 10 月 17 日（土）自然環境保全センター施設内で、池の生物調査と外来種駆除を行う。（9：00～16：00） （自然環境保全センターと神奈川ウォーター・ネットワークとの共催行事） （対象）丹沢大山ボラネット会員</p> <p>2 月 「（仮）ヤマメシンポジウム」の開催 （日時）2016 年 2 月 28 日（土）（13：00～16：00） （会場）神奈川工科大学 I T エクステンションセンター （小田急線本厚木駅徒歩 5 分） （内容） 「ヤマメの放流が在来個体群に影響を与えているのではないか？」という世論形成に対して、基調報告、ヤマメの生態写真紹介、静岡の川嶋さんの基調講演などから、「丹沢のヤマメの遺伝的多様性」について、参会者と共に考える場にしたい。 （対象）市民・漁協・町、市、県などの自治体関係・神奈川ウォーター・ネットワーク会員など</p> |